

閉 校 式

新庄・最上地域では3月、4つの小・中学校の閉校式が行われました。私もご案内を受けまして出席させて頂きましたが、一抹の寂しさがあります。各言葉私も小学校1・2年は分校で学び、今は無く、中学校はすでに統合になっています。各地域の皆様は学校に特別の愛着を感じていますが、少子化は私たちが思う以上に進みつつあるのが現状です。どこかで判断がなされるべきで、それも客観的になって考えるものと存じます。

平成18年3月



真室川町・及位駐在所竣工

私たちの安全安心の「とりで」及位駐在所が竣工しました。昨年17年度、私は議会の文教、公安委員会に所属しており、町そして地域の皆様より老朽化した駐在所の改築について要望を受けておりました。

当日は井上町長、石川新庄警察署長さんの出席をいただき、地区の皆様が総出して祝賀会が開かれました。また、地区からは携帯電話の基地局の新設要望も上がっていましたが、11月末に通話が可能になり、お約束が果たせて安堵しております。



ヤーコン焼酎発表会

最上町が最近、力を入れている「ヤーコン栽培」の商品化発表会が開催されました。

特に焼酎は香りがワイン風で口当たりもまろやかです。オススメです。その他、ヤーコンのきんぴら、ヤーコン五目飯など、大変グレードでした。最上町商工会までどうぞ！アスパラもあるよ！

平成18年5月



最上川川開き、川下り航路安全祈願祭

山形県の母なる川最上川、県では世界遺産に出羽三山と最上川を含めた計画案を候補として手を挙げました。舟運は山形と京の都を結ぶ重要な手段でした。今それは観光として生きており、人気

もあります。出羽三山の山伏の祈願をいただき、地元の小学生が民謡「最上川舟唄」を披露しました。拍手！喝采！！



鮭川左岸圃場整備県庁要望活動

鮭川左岸圃場整備事業は、約350ヘクタールにも及ぶ大事業です。それは受益者の方々の熱意、協力があって初めて進展します。そのような思いを直接、県の執行部に伝え、理解してもらいたいという声が役場を介しました。早速、元木村長をはじめ協議会役員と共に県の安孫子農林水産部長他、幹部の所を訪ねました。19年度は約13億円の予算要望となります。また、今年度は隣接する最上内川の直轄河川改修事業費約6億3千万円が新庄河川事務所の協力をいただき、予算獲得されました。鮭川本線についても築堤の用地買収が進みます。

「何もしない県会議員」と言われたくはありません！直接動き、現場、第一線を知る努力をする議員でありたいといつも考えています。



実りの秋、収穫祭

舟形町の産直「まんさく」がオープン5年目を迎えました。品揃えは豊富です。私もご案内を受け参加致しました。お祝いのセレモニーでは「餅まき」をさせていただき、感激で張り切ってしまいました。

また、最上町商工会では9年目の名古屋において販売キャンペーンが行なわれ、こちらも30名の青年部の皆様と共に参加して参りました。「売る」ことの可能性を追求する事が如何に重要か、肌で感じます。

(ハッピーリングを着ると気分が盛り上がります)



国道458号大蔵橋完成、日蔭倉スノージェット工事進捗

11月19日、地元親子三代のご家族を先頭に開通式が行なわれ、引き続き祝賀会が開催され、迫力ある太鼓等が披露されました。約20億円の事業でしたが前後のバイパスを含めて85億円になります。

また、肘折温泉へ向かう、難所の日蔭倉については11月末、国土交通省より「災害対策等緊急事業推進費」として約4億円追加を受け、19年度ほぼ完成を目指しております。この成果については、真冬に現場視察された後藤靖子副知事の後押しがあったものと存じます。心より御礼申し上げます。



「最上地区広域連合」発足

私たちが安心して暮らすには、医療、福祉はとても大事な基盤です。歴史を振り返ってみると「国保」発祥の地は戸沢村の角川になっております。現在、国の指針では国民健康保険が安定的に運用されるためには、一自治体で被保険者が三千人以上必要とされています。そのような状況の中、金山町、真室川町、鮭川村、戸沢村は保険料等の安定化や福祉の充実を図るために、今般、広域連合を発足いたしました。その効果を期待しますと共に他町村も加わり、市町村合併への大きな呼び水になることを願ってやみません。



金山町 家庭の日推進大会

30回目の記念すべき大会に参加致しました。健康を回復された松田町長さんも出席し、町民の皆様に元気よくご挨拶をされました。

会場の中央公民館3階では、女性の方々がご家庭で手作りされた料理の数々が並べられ、ごちそうになって参りました。またサタデースクールでお茶の作法を習っている小学生の皆様がコーナーを設けておりまして、私も緊張しながらお手前をいただきました。

勉強も仕事も「健全な家庭」が基本であると考えます。忙しいと言わず、もう一度家族の事、家庭の事、見つめ直してみましょう。

